|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設長 | サビ管 | 世話人 | 世話人 |
| 　　 |  |  |  |

議事録（スタッフ会議）・第六回

2020年1２月22日（木）

10：00～11：10

参加者：田中施設長、芳賀サビ管、江畑、丸山

1. 野中さんのふりかえり
	* 1月12日の週に体験利用をしてから、2月に入所予定。
	* 部屋のゴミが酷く散らかっていた。

オムツは視覚的に確認を行う。（メモや貼り紙を貼るなどの対策を行う。）

* + 使い捨てマスクの処分は、各自の部屋で行う。

使った後は決められた場所に捨てるよう可視化する。

* + お金の使い方

　　コンビニでの買い物で、お菓子や飲み物などの量を考えずに購入している様に

　　見受けられる。

* + 飲み物について

　　飲み物を出していると飲むが、声掛けをしないと飲まない。（声掛けを行う。）

* + 一人での外出は厳しいと思われる事から、当面は同行支援を行う。

　　買い物、ゴミ捨てなどでも、見守りは必要である。

　　（車道に出てしまう事（斜め歩行等）があるので、見守りと声掛けが必要。）

　　いずれ、一人でも外出が出来るよう見守る。

* + 行動・動作について、どんな時・場面で支援が必要なのか。職員同士で情報を共有する。
	+ 睡眠時について

　　壁を叩く音が聞こえる。（ベットを壁から離す。）

本人からの情報では、寝ぞうが悪いとの事。

　　　　　　　　大声がする。(本人は大声を出した覚えはないとの事。)

* + 通院は、1日かかりになる、可能性がある。（距離や病院の状況から。）

　　　　　　　　サービスの利用や主治医の検討も必要か、今後様子を見ていく。

* + 血圧が高い

野中さんも、血圧測定をする。

「今後の支援について」

* + 運動量を増やす（便秘解消と本人の健康維持の為）散策コースを探りながら決め、

日課にしていく。

* + 不穏時について

　　体験利用時には、暴れたりするような行動が無かったが、引き続き現状観察を行う。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　裏へ

　　本人の動静を観察し、本人・入所者・職員に危険が及び、それと判断された時には

　　110番・119番に通報する。

　　入所者から状況の情報をもらう。

1. 境さんについて
	* 湯呑みについて

　　丸いものに関して、こだわりがある。

* + ＧＨに入所したら、ここから通学予定。（週3日）
	+ 学校に行かない日の日中活動の場を探してもらう。（入所までに計画相談員に依頼。）
	+ 入所の時期は、慎重に判断する。
	+ 体験利用を段階的に増やしながら、生活状況等を観察する。
1. 儀間さんについて
	* 外泊に向けた取り組み（歩行・外出）である目標が終わり、やる気が出ない・部屋から出て来ないなどの生活環境に逆戻りしないか心配。
	* 娘さんの前では良い父親でいたい事から、また外泊が出来るようにモチベーションが上がる声かけを行う。
	* いつでも外泊をしてもよい状態にするために、歩行・リハビリ・外出など継続することで、患側筋力保持につなげる。
2. その他
	* ヒヤリハット報告書の記入方法について

　　対策として、どうするのか。具体的に明記する。

　　例）二次被害を出さない。その為にはどうするのか。など

* + 危機管理マニュアルについて

　　作成した危機管理マニュアルはよく理解し行動に移せるようにすること。

　以上